

平成 27 年度第 3 回南魚沼市総合教育会議 議事録

1. 日 時 平成 28 年 3 月 23 日 (水)
開会 13 時 30 分 閉会 14 時 35 分

2. 場 所 南魚沼市役所本庁舎 大会議室

3. 出席者 南魚沼市長 井口 一郎
南魚沼市教育委員会
教育委員長 西野 仁
教育委員長代理 角谷 正雄
教育委員 島田 裕子
教育委員 今井 晶子
教育長 南雲 権治

(事務局関係)

中島教育部長 高野学校教育課長 佐藤社会教育課長
佐藤子ども・若者育成支援センター長 長澤管理指導主事 山崎管理指導主事
大嶋学校庶務主幹 遁所施設主幹 島田主任
今井総務部長 清水企画政策課長 高橋行革主幹

4. 協議事項 (1)「南魚沼市後期教育基本計画」について
(2) 教育大綱の策定について
(3) その他 (①城内・大巻・五十沢中学校統合協議会の経過報告につて (報告)
②県立高校の将来構想について (報告))

5. 内容

○開会 (今井総務部長)

○挨拶 (井口市長)

教育委員の皆さま、年度末のお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。全員お揃いで、嬉しい限りです。今日、総合支援学校の卒業式に出席してきました。在校生代表の謝辞、卒業生代表のお礼の言葉ともすばらしかった。卒業生代表の生徒は、全く原稿なしで堂々と言葉を述べられ、感性と才能を感じました。教育が人をつくる、まさに教育大綱が目指す教育立志であると思います。

教育基本計画は、パブリックコメントも終了したようであります。今日はそれに係る修正事項や、教育大綱についてご審議いただき、報告事項では新制八海中学校の経過や校歌も紹介があるので、よろしく願いいたします。

○協議事項

(1)「南魚沼市後期教育基本計画」について

(西野教育委員長が後期教育基本計画の概略説明、長澤管理指導主事がパブリックコメント後の修正箇所について説明)

(続いて、長澤管理指導主事が新年度から実施するスクールソーシャルワーカーについて説明)

- ・3/11 弥彦村教育委員会に於いて、三条市、燕市、弥彦村、南魚沼市の教委が集まった。4月から配属になるスクールソーシャルワーカー（SSW）は、この4市村を兼任でみてもらうことになる。南魚沼市は毎週金曜日が勤務日になる。子ども・若者育成支援センターの相談員と連携を図りながらやっていきたい。
- ・SSWの活用方法は2通り
 - ①困っている子どもがいる家庭に直接介入するパターン
 - ②子ども・若者育成支援センターの相談員や子育て支援課とのケース会議で経験を生かした助言を行う間接的介入のパターン
- ・4月以降については、重たい事案を抱えている学校に優先順位をつけてSSWがどのように関わっていくかを調整中。

— 質疑事項 なし —

井口市長 「南魚沼市教育基本計画」(案)については、了承ということによろしいか。

一同 異議なし。

(2) 教育大綱の策定について

(西野教育委員長が概略説明：教育基本計画＝教育大綱では大きすぎるため、基本計画の概要版をもって大綱とすること。教育基本計画をベースにして概要版に載っていることを大綱とすること)
(長澤管理指導主事が資料(概要版)に沿って説明)

— 質疑事項 なし —

井口市長 今までも十分協議をしてきたので、無いようですね。それでは、教育大綱の策定についても、了承ということによろしいか。

一同 異議なし。

(3) その他 (①3中学校統合協議会の経過報告について ②県立高校の将来構想(報告))

(高野学校教育課長が①、②について概略説明)

(島田主任から①3中学校統合協議会の経過報告、その後八海中学校校歌を試聴)

(中島教育部長から②県立高校の将来構想について説明)

井口市長 まず、「統合中学校協議会の経過」についてご意見を伺いたい。

西野教育委員長 校歌を聴かせてもらったが、男子には無理では。途中から声が出なくなってしまうくらい（音が）高い。特に中学校の声変わりの時期には辛い。後半を二部合唱にしておけば、男子も最後まで堂々と歌える。音楽のことはそれほど詳しくないがそんな気がした。

今井教育委員 私も同じように感じた。変声期の子にはちょっと無理か。女子にとっても結構低く、また下のドから上のファまで音域が広いので、聴いているときは綺麗だがみんなで歌うのは無理があるかな、と感じた。

井口市長 私もこのことについては全く門外漢ではあるが、これが自分の母校の校歌であつたら、とても歌えないなと思った。すごく高い。また、言葉と言葉がくぎりなくつながっているので、（口が）回らない。

（再度 校歌試聴）

高野学校教育課長 部会でも学校の音楽の先生から意見を聞き、その中でも高いという声も出ていたが、作曲された今成先生とも協議した中で、この高さであれば問題ないということだった。しかし、今日、ご意見をいただいたので、ある程度任せた面もあるが、できる範囲で作曲者と協議したい。

井口市長 協議会の中では良いという意見だったろうが、市が依頼をして、この総合教育会議でも話が出ているのに、ある程度任せたということを強く言われると、作詞作曲の先生が全てで、ではなぜ今日説明をして意見を聞いたのかという話になるので、それはちょっとおかしい。
歌うには厳しいと思う。

学校教育課長 もう少し時間もあるので検討させていただきたい。

今井教育委員 市歌でも、作曲の原作があり、それを編曲なさっているようなので、可能ではないか。

学校教育課長 了解した。

井口市長 では、次に、「県立高校の将来構想」についてご意見をお願いしたい。

井口市長 普通科のクラスが減らされる計画のようだが、国際情報高校の倍率が1.0になれば減った数がそこでちょうど納まるくらいではないのか。それを置いといて、六高や小

出が減らされて困るという話はなかなか辛い。国際情報に挑戦するようときでも、部活の数が少なくて高校生活を楽しく過ごせないという考えも根強くある。学力はそれほど飛び抜けて高くなくても受ける人は受けて、受かっている。ここを解決しないとなかなか我々の言うことが（県に）理解されないと思うが、皆さんいかがか。

角谷教育委員 29年～30年にかけて、この地域は4学級くらいまとめて減になる。それをずらししていくようなことをしないと、その学級減がある年ばかりが大変になってしまう。一昨年もそうだったと思う。中2・中3などの生徒数は分かっていると思うので、その数に合わせた減らし方をしてもらいたい。前の年と同じくらいのテストの点数を取っていても、今年は受からないではかわいそうだと思う。

実業系の学校の募集が大変だと聞いている。塩沢商工に土木建築コースができてそれを目指している子もいると思うが、各学校の特徴が見えてくると、受験のときに自分の将来構想も考えながら選択の幅が増えてくるので、そういうものが事前に、直前ではなくてわかるようにして行っていただくことが大事と思った。

南雲教育長 国際情報高校については、市内からの合格者が昨年の30人から27人に減ってしまった。市内からの合格者を毎年平均50人にしたいと思い、国際情報高校の先生から各中学校に足を運んでもらっている。引き続き国際情報高校の良さをPRしていく。

混乱した一昨年との大きな違いは、県は3年前に方向を示すとの公約通り、今回は3年前に提示した。一昨年はギリギリ6カ月前に六高と八海高校の1学級減を発表した。（商工は既に3年前に1学級減を発表していた。）一昨年とは状況が若干違うが、今回は学校・保護者と早期対応を図る。

角谷教育委員 年度をずらすことは難しいことなのか。

教育長 そのような要望を検討する。しかし、市教育委員会の力だけではどうしようもない。保護者が要望をまとめ、議会を活用して県へ要望を挙げる等の方法がある。しかし今まで県が方針を変えたということはない。そうは言っても、今の意見を踏まえ、緩やかに減っていくように要望を検討してみたい。

角谷教育委員 この地域の場合、他の学校を選ぶという選択肢が少ない。長岡、新潟あたりだと、私立の学校や、普通科でもいくつか選択できる状況がある。

教育長 今年の大学入試で、国際情報高校から、大和中学出身の生徒が東大や新大医学部に合格、城内中出身の生徒は山形大医学部に合格した。市内出身の生徒が、市外からの生徒より伸びるという傾向になってきている。津南中等が、途中で他校へ移ってはいけないというルールが変わり、津南中等から国際情報高校に4人転校した。中学入学時、津南まで行かなくても高いレベルの大学を目指すには国際情報高校があるという考え方が浸透してきているのではないかと思う。

西野教育委員長　　今は、地域外への高校へ通うのは可能か。この構想にある「地域（エリア）」は、あくまで地域ということか。

教育長　　そのとおり。全県 1 区のはしりが国際情報高校が最初であり、今は県立高校はどこを受けても良い。市内から長岡や新潟へ行く子もいる。

井口市長　　このことは、異論があってもなかなか変えられることではないが、皆さんで情報を共有し、今後のためにしていただきたい。

井口市長　　協議事項は以上だが、他に何かあるか。

教育長　　後期教育基本計画について、教員の皆さんに説明をしたいので、4月の下旬に先生が集まる会があるので、そこで 20 分程時間をいただいて説明する予定。

角谷教育委員　　基本計画を確認していて気づいた点がある。スクールソーシャルワーカーについては用語の説明を入れるべきと思う。せっかく導入となるのに一般に意味がわからないではもったいない。

学校教育課長　　まだ、印刷に Go は出していない。調整してみる。

井口市長　　他にないか。

一同　　なし。

○閉会（西野教育委員長）

南魚沼市の後期教育基本計画ができあがったことを大変ありがたく思います。問題は、この基本計画をどう実行するかということをして次の年度にしなければならないと考えています。昨日も不登校の対策会議があり、南魚沼市では他市町村よりもすべての学年で不登校の割合が高いということも明らかになっています。これをいかに減らしていくかということが、これからやらなければいけないことです。基本計画を軸にしながら頑張っていってほしいし、頑張る所存です。そんなとき、高野学校教育課長と佐藤社会教育課長が3月で退任されるのは大変残念です。

今年度、総合教育会議を3回開いていただいたが、3回も開催した市町村は、そうは無いだろうと思われます。これからもよろしく願いいたします。本日は、ありがとうございました。